令和　8　年度　　年 間 授 業 計 画　　都立東久留米総合高等学校

教　科：	地理歴史	科　目：	歴史総合	単位数：	2
対象年次・クラス：	4年次通常課程				
教　材：	教科書	現代の歴史総合　みる・読み解く・考える（山川出版社）			
	補助教材	プリント　ＩＣＴ機器			

教科目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	・社会の様相、諸問題について理解できる。	・社会の諸問題について、自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。	・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

科目目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評　価　規　準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　1　近代化と私たち	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 近代化について理解する。	・指導事項 「交通と貿易」「産業と人口」「権利意識と政治参加、国民の義務」「学校教育」「労働と家族」「移民」	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方が近代化にともない変化したことについて考察するなかで問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 近代化にともなう生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 近代化にともなう生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	単元　2　結びつく世界と日本の開国	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 18世紀のアジアと産業革命による世界の変化について理解する。	・指導事項 18世紀東アジアにおける社会と経済、貿易ガ結んだ世界と日本、産業革命、中国の開港と日本の開国	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したことについて考察するなかで問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読み取った生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	定期考査（１学期中間考査）						1
	単元　3　国民国家と明治維新	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 市民国家・国民国家の形成と変容する東アジアの国際秩序について理解する。	・指導事項 市民国家、国民国家とナショナリズム、明治維新、日本の産業革命、帝国主義、変容する東アジアの国際秩序、日露戦争と東アジアの変動	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したことについて考察するなかで問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読み取った生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	単元　4　国際秩序の変化や大衆社会と私たち	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 20世紀の国際関係と大国の台頭、大衆の政治参加について理解する。	・指導事項 20世紀の国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したことについて考察するなかで問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読み取った生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	定期考査（１学期期末考査）						1

令和　8　年度　　年 間 授 業 計 画　　都立東久留米総合高等学校

教　科：	地理歴史	科　目：	歴史総合	単位数：	2
対象年次・クラス：	4年次通常課程				
教　材：	教科書	現代の歴史総合　みる・読み解く・考える（山川出版社）			
	補助教材	プリント　ＩＣＴ機器			

教科目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	・社会の様相、諸問題について理解できる。	・社会の諸問題について、自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。	・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

科目目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評　価　規　準	知	思	態	配当時数
2学期	単元　4　総力戦と社会運動	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 第一次世界大戦とその国際秩序、アジアのナショナリズムについて理解する。	・指導事項 第一次世界大戦、ソヴィエト連邦とアメリカ合衆国の台頭、ヴェルサイユ条約とワシントン体制、アジアのナショナリズム、大衆の政治参加	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したことについて考察するなどの問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読み取った生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	単元　5　経済危機と第二次世界大戦	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 世界恐慌とファシズム、共産主義の台頭、第二次世界大戦と冷戦の始まりについて理解する。	・指導事項 世界恐慌の時代、ファシズムの伸長と共産主義、日中戦争、第二次世界大戦、冷戦の始まり、日本の独立と日米安全保障条約	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したことについて考察するなどの問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読み取った生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	定期考査（２学期中間考査）						1
	単元　5　グローバル化と私たち	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 冷戦とそれによる国際関係、グローバル化による社会の変化と現代の課題について理解する。	・指導事項 冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したことについて考察するなどの問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読み取った生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	単元　6　冷戦と世界経済	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 冷戦時代の軍拡競争と緊張緩和、日本の高度経済成長について理解する。	・指導事項 冷戦下の地域紛争と植民地化、軍拡競争から緊張緩和へ、計画経済とその波及、日本の高度経済成長	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したことについて考察するなどの問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。	○	○	○	8
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読み取った生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	定期考査（２学期期末考査）						1

令和　8　年度　　年 間 授 業 計 画　　都立東久留米総合高等学校

教　科：	地理歴史	科　目：	歴史総合	単位数：	2
対象年次・クラス：	4年次通常課程				
教　材：	教科書	現代の歴史総合　みる・読み解く・考える（山川出版社）			
	補助教材	プリント　ＩＣＴ機器			

教科目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	・社会の様相、諸問題について理解できる。	・社会の諸問題について、自身の考えを根拠立てて表現できる。 ・図表やグラフなどを活用して説明できる。	・授業態度や提出物等が良好である。 ・前向きに発言したり課題に取り組んだりできる。

科目目標	【 知 識 及 び 技 能 】	【 思考力、判断力、表現力 等 】	【 学びに向かう力、人間性 等 】
	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評　価　規　準	知	思	態	配当時数
３学期	単元　7　世界秩序の変容と日本	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	9
	【知識及び技能】 石油危機や冷戦の終結、ソ連の崩壊と現代世界について理解する。	・指導事項 石油危機、市場開放と経済の自由化、冷戦の終結とソ連の崩壊、地域統合の拡大と変容、現代と私たち	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したことについて考察するなどの問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。				
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読み取った生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	単元　8　現代的な諸課題の形成と展望	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 現代における地球的課題を理解し、自ら問を立て、考察する技能を養う。	・指導事項 歴史的な見方・考え方を生かして考える、資料から問を立てよう、様々な資料から分析しよう	【知識及び技能】 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、情報を読みとったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したことについて考察するなどの問いを表現する。	・教材 教科書	【思考力、判断力、表現力　等】 諸資料を活用して、生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。				
	【学びに向かう力、人間性　等】 ペアワークやグループワークを主体的に取り組み、学び合いを通じて他者の考えを受け入れ、協力して課題に取り組む力を養う。	・一人１台端末の活用（場面） 説明資料提示、予習・復習、課題の提出、ペアワークやグループワーク	【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読み取った生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。				
	定期考査（学年末考査）						1

令和　8　年度　　年 間 授 業 計 画　　都立東久留米総合高等学校

教　科：	外国語	科　目：	英語コミュニケーションⅡ	単位数：	2
対象年次・クラス：	４年次四修制				
教　材：	教科書	VISTA English Communication Ⅱ（三省堂）			
	補助教材	英単語ターゲット1200　改訂版　書き覚えノート（旺文社）　プリント　　ＩＣＴ機器			

教科目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	読み取り、聞き取りに必要な単語、語句、文法を覚えたり、使用したりする。	学習内容を組み合わせて、自己の思いや考えを、話したり書いたりして英語で基礎的なコミュニケーションができる。	伝える相手を意識して、内容を整理し、よりわかりやすい表現をしようと工夫や努力ができる。

科目目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。	覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。	粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話・や	話・発	書	評　価　基　準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　1　Lesson6	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 have been done ・will be doneを用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 have been done ・will be done						【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 日本の農業問題と解決手段について知っていることや調べたことを伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力　等】 日本の農業問題と解決手段について知っていることを紹介したり、調べてわかったことをまとめたりして、伝え合うことができている。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性　等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習						【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができている。				
	定期考査（１学期中間考査）											1
	単元　2　Lesson7	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 関係代名詞の非制限用法・関係代名詞whatを用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 関係代名詞の非制限用法・関係代名詞what						【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 協議かるたの魅力について調べたことを伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力　等】 競技かるたの魅力について紹介したり、調べてわかったことをまとめたりして、伝え合うことができている。	○	○	○	13
	【学びに向かう力、人間性　等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習						【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができている。				
	定期考査（１学期期末考査）											1

令和　8　年度　　年 間 授 業 計 画　　都立東久留米総合高等学校

教　科：	外国語	科　目：	英語コミュニケーションⅡ	単位数：	2
対象年次・クラス：	４年次四修制				
教　材：	教科書	VISTA English Communication Ⅱ（三省堂）			
	補助教材	英単語ターゲット1200　改訂版　書き覚えノート（旺文社）　プリント　　ＩＣＴ機器			

教科目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	読み取り、聞き取りに必要な単語、語句、文法を覚えたり、使用したりする。	学習内容を組み合わせて、自己の思いや考えを、話したり書いたりして英語で基礎的なコミュニケーションができる。	伝える相手を意識して、内容を整理し、よりわかりやすい表現をしようと工夫や努力ができる。

科目目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。	覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。	粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話・や	話・発	書	評　価　基　準	知	思	態	配当時数
２学期	単元　3　Lesson8	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 分詞構文・強調構文を用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 分詞構文・強調構文						【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 生き物と自然環境、バイオロギングについて学び、伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力　等】 バイオロギングについて理解したことを基に、生き物と自然環境について伝え合うことができている。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性　等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習						【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができている。				
	定期考査（２学期中間考査）											1
	単元　4　ENJOY READING 1	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 ユーモアやウィットを理解し、話したり、書いたりできる。	・指導事項 登場人物の会話の意図、物語の展開の把握						【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 様々な場面展開について考え、伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力　等】 様々な場面の展開の面白さについて理解したことを基に考え、伝え合うことができている。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性　等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習						【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができている。				
	定期考査（２学期期末考査）											1

令和　8　年度　　年 間 授 業 計 画　　都立東久留米総合高等学校

教　科：	外国語	科　目：	英語コミュニケーションⅡ	単位数：	2
対象年次・クラス：	４年次四修制				
教　材：	教科書	VISTA English Communication Ⅱ（三省堂）			
	補助教材	英単語ターゲット1200　改訂版　書き覚えノート（旺文社）　プリント　　ＩＣＴ機器			

教科目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	読み取り、聞き取りに必要な単語、語句、文法を覚えたり、使用したりする。	学習内容を組み合わせて、自己の思いや考えを、話したり書いたりして英語で基礎的なコミュニケーションができる。	伝える相手を意識して、内容を整理し、よりわかりやすい表現をしようと工夫や努力ができる。

科目目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	基本的な単語、語句、文法までを繰り返し覚える。	覚えた単語、文法を活用して、短い会話をしたり、短文を書くことができる。	粘り強く学習し、発音を磨いたり、単語をたくさん覚えたりして、英語に一層慣れ親しもうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話・や	話・発	書	評　価　基　準	知	思	態	配当時数
３学期	単元　5　ENJOY READING 2	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形の表現を用い、話したり、書いたりできる。	・指導事項 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形						【知識及び技能】 基本的な単語・語句・文を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 景観を守るための取組みを考え、伝え合うことができる。	・教材 教科書、単語帳、プリント等	○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力　等】 世界遺産を取り巻く歴史と環境、世界遺産の継承について考え、伝え合うことができている。	○	○	○	17
	【学びに向かう力、人間性　等】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 課題の提示、調べ学習						【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取組みや発表において、主体的に取り組むことができている。				
	定期考査（学年末考査）											1

令和　8　年度　　年 間 授 業 計 画　　都立東久留米総合高等学校

教　科：	総合的な探究の時間	科　目：	総合的な探究の時間	単位数：	1
対象年次・クラス：	４年次四修制				
教　材：		プリント　ＩＣＴ機器			

教科目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して得た知識や自己の考えを、話したり書いたりして、他者に伝えることができる。	将来の自己のあり方、生き方について、自らさらに学習する。

科目目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して学んだことや調べ学習で得た知識をもとに、プレゼンテーションの構成を考え、発表ができる。	粘り強く学習し、学び合ったり、教え合ったりして、コミュニケーション能力を高め、人間と社会、職業や進路について、時間をかけてより一層考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評　価　規　準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　1　レディネステスト	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 就職・進学の流れを確認し、進路実現に向けて必要なことを理解する。	・指導事項 レディネステスト	【知識及び技能】 就職・進学の流れを確認し、進路実現に向けて必要なことを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 適性検査結果を分析し、表現することができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 適性検査結果を分析し、表現することができている。				
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				
	単元　2　進路ガイダンス	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 学部、学科と取得可能な資格を理解する。 就職活動についての心構えを理解する。	・指導事項 大学、短大、専門学校 奨学金	【知識及び技能】 学部、学科と取得可能な資格を理解している。 就職活動についての心構えを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 自分の適性に合った進路先の候補について考え、表現できる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 自分の適性に合った進路先の候補について考え、表現している。				
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				
	単元　3　求人票の見方	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	3
	【知識及び技能】 求人票の見方を理解する。	・指導事項 求人票	【知識及び技能】 求人票の見方を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 自分の適性に合った求人票を見つける。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 自分の適性に合った求人票を見つける。				
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				
	単元　4　自己PR	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	3
	【知識及び技能】 自分の長所・短所を知る。	・指導事項 短所・長所	【知識及び技能】 自分の長所・短所を知る。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 自分やクラスメイトの長所を見つけ、表現する。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 自分やクラスメイトの長所を見つけ、表現する。				
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				

令和　8　年度　　年 間 授 業 計 画　　都立東久留米総合高等学校

教　科：	総合的な探究の時間	科　目：	総合的な探究の時間	単位数：	1
対象年次・クラス：	４年次四修制				
教　材：		プリント　ＩＣＴ機器			
		0			

教科目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して得た知識や自己の考えを、話したり書いたりして、他者に伝えることができる。	将来の自己のあり方、生き方について、自らさらに学習する。

科目目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して学んだことや調べ学習で得た知識をもとに、プレゼンテーションの構成を考え、発表ができる。	粘り強く学習し、学び合ったり、教え合ったりして、コミュニケーション能力を高め、人間と社会、職業や進路について、時間をかけてより一層考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評　価　規　準	知	思	態	配当時数
２学期	単元　5　自己PR	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 高校生活で頑張ったことを振り返る。	・指導事項 高校生活で頑張ったこと	【知識及び技能】 高校生活で頑張ったことを振り返る。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 自己PRを作成する。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 自己PRを作成する。				
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				
	単元　6　面接対策	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 面接の流れ・取り組む姿勢を理解する。	・指導事項 面接の流れ	【知識及び技能】 面接の流れ・取り組む姿勢を理解する。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 適切な面接での受け答えができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 適切な面接での受け答えができる。				
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				
	単元　7　面接対策	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】 志望動機の話し方を理解する。	・指導事項 志望動機	【知識及び技能】 志望動機の話し方を理解する。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 志望動機について表現できる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 志望動機について表現できる。				
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				

令和　8　年度　　年 間 授 業 計 画　　都立東久留米総合高等学校

教　科：	総合的な探究の時間	科　目：	総合的な探究の時間	単位数：	1
対象年次・クラス：	４年次四修制				
教　材：		プリント　ＩＣＴ機器			
		0			

教科目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して得た知識や自己の考えを、話したり書いたりして、他者に伝えることができる。	将来の自己のあり方、生き方について、自らさらに学習する。

科目目標	【　知　識　及　び　技　能　】	【　思考力、判断力、表現力　等　】	【　学びに向かう力、人間性　等　】
	体験活動や様々なキャリアを学ぶことで社会性や将来必要な知識・技能を身に付ける。	体験等を通して学んだことや調べ学習で得た知識をもとに、プレゼンテーションの構成を考え、発表ができる。	粘り強く学習し、学び合ったり、教え合ったりして、コミュニケーション能力を高め、人間と社会、職業や進路について、時間をかけてより一層考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評　価　規　準	知	思	態	配当時数
３学期	単元　8　卒業準備	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 一般教養として漢字やニュース等の言葉を覚える。	・指導事項 漢字	【知識及び技能】 一般教養として漢字やニュース等の言葉を覚える。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 正しい漢字の使い方ができる。 社会的な話題について伝えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 正しい漢字の使い方ができる。 社会的な話題について伝えることができる。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				
	単元　9　卒業準備	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 一般教養として四則計算ができる。 科学的な話題について理解する。	・指導事項 四則計算	【知識及び技能】 一般教養として四則計算ができる。 科学的な話題について基本事項を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 四則計算を生活で使える。 科学的な話題について伝えることができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 四則計算を生活で使える。 科学的な話題について、基本的なことを伝えることができる。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				
	単元　10　卒業準備	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価基準により評価する。				
	【知識及び技能】 目上の人や周囲の人への接し方を理解する。	・指導事項 敬語、コミュニケーション	【知識及び技能】 目上の人や周囲の人への接し方を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力　等】 目上の人と適切な接し方ができる。 場に応じたふるまいができる。	・教材 ワークシート、講話、演習等	【思考力、判断力、表現力　等】 目上の人と適切な接し方ができる。 謙虚さや感謝の気持ちをももって接することができている。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性　等】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができる。	・一人１台端末の活用（場面） 資料提示、調べ学習、探求のまとめ	【主体的に学習に取り組む態度】 休まず授業に出席し、主体的に取り組むことができている。				